

数字で見るこの1年

平成26年になって初めての発行となる市議会だよりでは、議会活動『数字で見るこの1年』と題し、昨年1月から12月までの議会活動について、1年間のデータをもとに紹介します。

一般質問通告項目
(195 項目中、上位を掲載)

順位	質問項目	件数
1	保健福祉行政	37
2	教育行政	31
3	防災行政	26
4	環境行政	18
5	行財政運営	17
6	放射性物質対策	16
7	都市計画行政	9
8	土木行政	7

委員会、常設の常任委員会、議会運営委員会、広報委員会、さらに必要に応じて設置される特別委員会に区分されます。市議会を取り扱う案件は数多く、内容も幅広い分野にわたります。

市議会で行う会議には本会議と委員会があります。本会議は議員全員が議場に集まり、市議会の最終的な意思を決定する会議です。市長などに一般質問を行い、市政全般についての所信を問うことや、市議会に提出された議案及び市議会としての意見表明などの議決はすべて本会議において行われます。

年間86回の
会議を開催

案件及び議決の状況

案件別 議決結果	市長提出案件						議員提出案件			請願	陳情	合計
	条例	予算	決算	契約	専決処分	その他	条例	意見書	その他			
可決	41	29		2		20	2	7	1			102
修正可決												0
否決								10				10
同意						4						4
認定			8									8
承認					2							2
推薦												0
採択										2	4	6
不採択										1	5	6
取り下げ												0
閉会中継続審査												0
合計	41	29	8	2	2	24	2	17	1	3	9	138

審議案件は
年間138件

市議会では、市長提出の案件と議員提出の案件、さらに請願

平成25年は、本会議24回、常任委員会21回、特別委員会15回、議会運営委員会、議会活性化等検討委員会及び広報委員会などが26回で、合計86回の会議を開催しました。

しているため、常任委員会を4つの部門（総務・環境経済・文教福祉・建設）に分けて専門的かつ効率的に審査・調査をしています。

一般質問に
52人が登壇

一般質問通告項目は195項目の多岐にわたり、延べ52人の議員が登壇し、活発な質問を行いました。主な質問項目については、上記表のとおりです。

417人が議会を傍聴

市議会は、原則として本

インターネット
による議会中継
のアクセス件数

平成25年のインターネットによる本会議放映のライブ中継で延べ2千928件、録画中継で延べ3千150件のアクセスがありました。

や陳情があります。平成25年は、市長提出の案件が106件、議員提出の案件が20件、請願・陳情が12件で、合計138件を審議しました。

会議を公開しています。常任委員会や特別委員会等も委員長の下許可を得て傍聴することが出来ます。

平成25年は本会議に延べ385人、常任委員会等に延べ32人、合計で延べ417人の方が市議会を傍聴されました。

全国の地方議会から

239人が来訪

平成25年も、公契約条例のほか、コウノトリとの共生や災害時要援護者支援計画、地域教育プラットフォーム事業、買い物弱者対策、ごみ減量化への取り組み、まめバスなど16項目について、全国37の地方議会から、延べ239人の議員等が視察に訪れました。

常任委員会

行政視察報告

建設委員会

(10月2日から4日)

【視察先・項目・所見】

◎新潟県村上市

・歴史的景観保全条例と景観計画について

・城下町の町屋を生かした観光振興について

歴史的町並みの良さを継承しつつ良好な住環境を形成するため、助成金交付制度を設けるなど独自の条例を制定している。町屋についてはイベントの開催により町屋に関心を持ってもらい、観光客を誘致して町の

活性化につなげている。

歴史的景観を保全するために多様な施策を積み重ねており、長期的な視野に立った計画の策定とプラン形成が必要だと感じた。選択と集中による施策の実施、普及・啓発のために情報発信力が必要とされていること及び市民を巻き込んだ人材の活用が重要な推進力となることが分かった。

◎新潟県糸魚川市

・糸魚川駅周辺整備事業について

平成27年春の北陸新幹線開業に合わせて、玄関口となる糸魚川駅の周辺整備事業を進めている。事業内容としては在来線駅舎の橋上化、南北駅前広場、糸魚川駅自由通路、市道等の整備に取り組んでいる。

南北を結ぶ自由通路が完成すれば、駅を中心とした市街地の活性化に結びつくのではないかと。新幹線駅では施設を活用して市の広報をするなどの工夫もみられ、これから愛宕駅、野田市駅の整備事業に対して大変参考になった。

◎富山県富山市

・公共交通を軸としたコン

パクトなまちづくりについて

人口減少及び高齢化の傾向で郊外に住む人が増え、市街地が拡大し、行政コストが増大しているため、公共交通を活性化させることにより、コンパクトなまちづくりを推進している。また、北陸新幹線の開業に向けて路面電車の南北接続事業などに取り組んでいる。

野田市においても総合計画審議会の都市構造の方向性に関する審議の中で、さまざまな意見が出されているように、公共交通の充実や市街地活性化の推進が求められており、今後のコミュニケーションバスの運行など具体的な政策課題において大いに参考となった。



糸魚川市視察

会議録をご覧ください

市議会だよりに掲載の審議内容や一般質問は紙面の都合により要約してありますので、詳しい内容は会議録をご覧ください。会議録は次の場所で閲覧することができ、2月下旬に配置する予定です。

- ◇市内各図書館
- ◇市内各公民館
- ◇谷吉会館、七光台会館、島会館、関宿会館
- ◇議会資料室（委員会会議録も含む）
- ◇情報公開コーナー（市役所総務課内）

会議録及び委員会の会議録は、市議会ホームページでもご覧いただけますのでご利用ください。